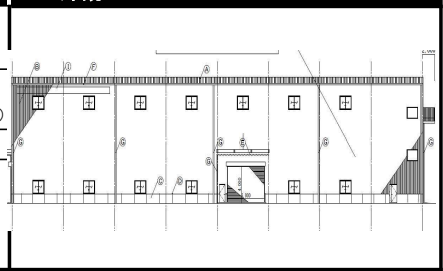


# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宮地エンジニアリング株式会社	階数	地上2F
建設地	埼玉県久喜市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	5人
地域区分	6地域	年間使用時間	500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年1月18日
敷地面積	3,314 m <sup>2</sup>	作成者	坂本 堅志
建築面積	1,214 m <sup>2</sup>	確認日	2023年1月18日
延床面積	2,372 m <sup>2</sup>	確認者	坂本 堅志



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	特になし。	その他 特になし。
Q1 室内環境	特になし。	Q2 サービス性能 階高3.7m以上、3.9m未満で計画した。
LR1 エネルギー	LED照明を採用。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
	LR2 資源・マテリアル ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率71%	LR3 敷地外環境 広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
(夜間)宮地エンジニアリング株式会社 緑化センター改築工事【器工具庫】

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.2</b>	
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q2 サービス性能</b>					0.43			<b>3.0</b>	
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>	
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	1.00				
1 維持管理に配慮した設計				3.0	1.00				
2 維持管理用機能の確保									
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30			<b>2.9</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				<b>2.8</b>	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.3</b>	0.30		-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>4.0</b>	0.30		-	-	
1 階高のゆとり	階高3.7m以上、3.9m未満	4.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 $0.1 \leq$ [壁長さ比率] $< 0.3$	4.0	0.40		-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.57		-	-	<b>1.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>1.0</b>	0.30		-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>2.0</b>	0.40		-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>2.0</b>	0.30		-	-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-		-	-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40		-	-	<b>4.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		-	-		-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>3.0</b>	0.13		-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 0.40	<b>5.0</b>	0.63		-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>		<b>3.0</b>	0.25		-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価		<b>3.0</b>	1.00		-	-	
4.1 モニタリング		3.0	1.00		-	-	
4.2 運用管理体制		-	-		-	-	
集合住宅の評価		-	-		-	-	
4.1 モニタリング		-	-		-	-	
4.2 運用管理体制		-	-		-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30		-	-	<b>2.6</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>2.2</b>	0.20		-	-	<b>2.2</b>
1.1 節水		<b>1.0</b>	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>2.7</b>	0.60		-	-	<b>2.7</b>
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。	4.0	0.20		-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>3.0</b>	0.20		-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70		-	-	
1 消火剤		-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30		-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	ライフサイクルCO2排出率71%	<b>4.1</b>	0.33		-	-	<b>4.1</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>2.7</b>	0.33		-	-	<b>2.7</b>
2.1 大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>2.0</b>	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>3.2</b>	0.33		-	-	<b>3.2</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 騒音		3.0	0.33		-	-	
2 振動		3.0	0.33		-	-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-		-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制		<b>4.4</b>	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明目的に合った照度を設定し、広告物照明を行っていない。	5.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)宮地エンジニアリング株式会社	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.1	+	2.0	=	6.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.1
ライフサイクルCO2排出率71%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

 : 入力欄